

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2020-107016 (P2020-107016A)
【公開日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)
【年通号数】公開・登録公報 2020-027
【出願番号】特願 2018-244116 (P2018-244116)
【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 9】

このようにして得られた D T W 距離は、その値が大きいほど二つの時系列データの類似度は低く、その値が小さいほど二つの時系列データの類似度は高いことを意味する。つまり、D T W 距離の値で二つの時系列データの類似度を判定することができる。例えば、二つの時系列データが完全に同一であれば、D T W 距離はゼロとなる。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 4】

なお、本実施の形態においては、データベースから第一時系列データおよび教師時系列データをデータ記憶部に読み込んでいたが、あらかじめデータ記憶部に教師時系列データが記憶されていてもよい。また、類似度判定装置は必ずしもデータ記憶部を備えている必要はなく、判定部が第一時系列データおよび教師時系列データを直接データベースから読み込んでよい。さらには、類似度の判定対象となる第一時系列データは、必ずしもデータベースに記憶されている必要はなく、センサーなどの測定装置からリアルタイムで送られてくる時系列データであってもよい。本実施の形態の類似度判定装置であれば、計算量が少ないので、リアルタイムで送られてくる時系列データに対しても即座に類似度の判定が可能である。